

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	情報	科目	情報処理	単位	3	単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	2 年	5	組
使用教科書	全商ビジネス文書検定模擬問題集2級・3級 (実教出版)					
使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・全商情報処理検定問題集 (1級・2級) ・日本情報処理検定問題集 (1級・2級) 					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

情報処理では、情報処理の専門的な知識と技能について、データベースソフトウェア・表計算ソフトウェアを通して、1年次で学習した知識以上に理解を深めて下さい。また、情報発信の方法とその問題点について理解を深め、情報化が及ぼす影響について考えて下さい。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- (1) 表計算技能
日検情報処理検定・全商情報処理検定の問題を題材とし、表計算ソフトを使った表計算の技能について学習する。
- (2) データベース技能
日検情報処理検定の問題を題材として、データベース機能について基礎から復習し、応用へと発展学習を行う。
- (3) ホームページ作成および、活用方法について
普段見慣れているホームページを自分たちで、一から作成していく。ホームページ技能を習得した後に、各種企業を調べ、そのホームページが売場・商品の紹介ページを作成して行くこととする。

- (1) 学校
実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。私語は大迷惑。
- (2) 家庭
全商情報処理検定 (1級・2級) の筆記対策をしっかりと行うこと。
検定対策＝定期考査に向けての勉強となります。
実技については、家庭にパソコンがない場合も想定されるので、その場合は学校で1日30分でもいいので実技の練習を行うとよい

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- (1) 定期考査→情報メディア第2回・第4回考査に組み入れて行います。
- (2) 授業中での課題作成→授業中に課題を提示します。(ファイルを提出、印刷して提出など)

評価における定期考査の割合

30 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

- (1) 関心・意欲・態度
課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。また、課題の提出状況と内容も見ます。
- (2) 思考・判断
課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。
- (3) 技能・表現
課題の意味を理解し、その内容をどのように表現していくかを見ます。

(4) 知識・理解
小テスト、定期考査、課題の完成度、表現方法を見ます。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	○コンピュータ室の利用について ・ログイン・ログアウトについて ※毎授業時に、10分計測を行いタイピングを実施	・配付されたIDとパスワードが個人情報であることを学ぶ。 正確なホームポジションで入力することを身に着け、正しいタッチメソッドの修得を目指す。	●			●	
		○全商ビジネス文書実務検定試験(1・2級)に向けて ○日本情報処理検定(データベース)2級について(4月中旬~6月中旬)	○2級の検定を行いながら、1級取得に向けての新しい技術習得に向けて実際の演習問題を使いながら学習をしていく。 ○データベース3級の内容の復習を行いながら、2級で出題される新しい技能について学んでいく。	●			●	●
2	7	・確認テストを実施 第2回考査 ○検定試験	定期的な、検定合格に向けての小テストを実施する。 全商ビジネス文書実務検定試験受験 日本情報処理検定(データベース)受検	●	●		●	
		○全商情報処理検定(2級)の復習 ○日本情報処理検定(表計算)2級について(7月上旬~10月上旬)	昨年度の復習を行いながら、2級での知識の最定着を目指す。 なお、すでに2級を取得している生徒は未取得の生徒へのフォローに回る。 全勝情報処理検定2級の復習を行いながら、日本情報処理検定(表計算)2級に向けての実技演習を例題を使いながら学習していく。	●			●	●
		○検定試験	全商情報処理検定・日本情報処理検定(表計算)				●	●
		○全商情報処理検定(1級)の学習(10月上旬~1月下旬) ○日本情報処理検定(データベース)1級の学習(10月上旬~12月上旬)	全勝情報処理検定1級でのデータベースの内容についての学習を日本情報処理検定(データベース)での実技練習問題などを用いながら実習を行い、学習を進めていく。				●	●
3	1	・確認テストを実施 第4回考査	定期的な、検定合格に向けて小テストを実施する。	●	●		●	
		11 全商情報処理検定(1級)の学習 ○検定試験		●	●		●	
		12 ○検定試験	日本情報処理検定(データベース)				●	●
		1 ホームページ作成	全商情報処理検定				●	●
		2	ホームページを作成するうえで必要になってくるHTMLについて学習する。 二人一組でグループを作り、仮想企業を作ってもらいます。そこで、一つのテーマを決め、それを紹介するホームページを作成する。実際に製作していく段階では、インターネット教材(3年生で使用)を使いながら、学習を進めていく。	●			●	●
		完成披露会	完成したホームページを生徒同士で評価していく。				●	●



【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

